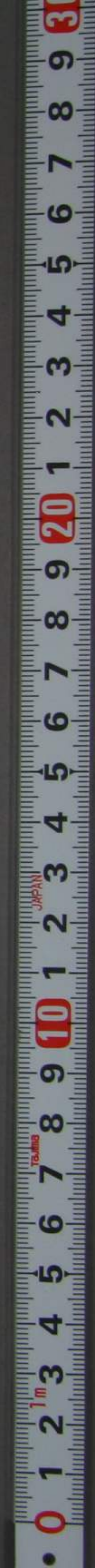


1657

北村



414
A 2538



政府ノ責任ノ事

十一月ヲ以テ閣下ノ在ノニ政府ノ責任ニ係ル
楯撮昏ヲ進呈スルノ宗蒼ヲ辱セレハ猶ホ尤ノ二項ノ疑
問ヲ蒙ルヲ以テ此紙面上ニ於テ之ヲ簡略ニ弁拈セント
欲ス

第一問

英國法律上ニ於テ政府自ラ「ベケレヨシ、オフレイト」
責ニ任セザルヲ得ザル場合ト政府自ラ「ベケレヨシ、オ
フレイト」トノ責ニ任スルニ及ハカレ場合トノ二様ノ通
例ヲ辨シテ之ヲ乞ハレシメ

第二問

被害者ベケレヨシ、オフレイトヲ以テ償ヲ得ンコトヲ許
願スルト由ル既ニ特別ノ償法ヲ設ケタル旨ヲ以テ裁

裁
旨

キトク契約レ高買ハ証書中ニ述ヘタル如ク糧食ノ供
給ヲナレタルニ陸軍卿ハ拒ムヘキ当然ノ理由ナクシ
テ其供給ヲ受ケルルハ高買ハ之ニ由テ蒙リタル損
失ノ償ヲベケレヨシトスライトテ以テ請求スルトテ
得ヘシ或ハ陸軍卿カ既ニ糧食ノ供給ヲ受ケタル後
其代價ヲ拂フコトヲ拒ミタルハ高買ハベケレヨシト
スライトテ以テ既ニ供給シタル糧食ノ代價ヲ請求ス
ルコトヲ得可シ

隠合契約ノ实例

若シ政府ノ委任ヲ受ケ政府ノ為メニ事ヲ行フ官吏ク
幾千ノ給料ヲ拂フヘシト明カニ契約スルトナク政府
ノ工作ノ為メニ職工ヲ雇使シ或ハ幾千ノ代價ヲ拂フ
ヘシト明カニ契約スルトナクレテ政府ノ為メニ物

ヲ注文シ職工ハ其工作ヲ竣レ高買ハ其物品ヲ供給シ
タルニ其官吏カ其給料或ハ其代價ノ拂フ拒ムハ職
工元ニ高買ハベケレヨシトスライトテ以テ之ヲ訴願
シ職工ハ普通ノ相場ヲ以テ算計シタル其勤勞ノ價格
ニ当レル金高ヲ請求スルトテ得ヘシ又高買ハ供給シ
タル物品ノ相キタル代價ヲ請求スルトテ得ヘシ
政府ハ動産及ヒ不動産ヲ不法ニ収没シ或ハ不當ニ引
キ留メタルハ被害者ハベケレヨシトスライトテ以
テ之ヲ回復スルトテ得ヘシ凡ソ此訴願ニ於テハ嘗テ
被害者ニ其財産ヲ所有ス可キコトヲ準許シタルコトヲ証
明スヘキ契約証書ノ存在スルトアリ或ハ存在セサル
コトアリ後令ニ其契約証書存在セスト雖モ政府ヨリ嘗
テ其財産ヲ被害者ニ恩賜シ或ハ他ノ法式ヲ以テ讓與

レタリト法律工ニ於テ推斷レ之ニ由テ被害者ノ所有
権理確實ナルヲ証明シ得レハ則テ被害者ニ其財産
ヲ回復スヘキ推理アルモノトス然レ氏斯ノ如キハ現
時英國ニ於テ稀有ノ事ナリ

被害者ベケレオン、オフ、ライトヲ以テ償金ヲ訴願スル
ト雖モ其訴願タル苟モ契約ニ関係ナクシテ全ク契約
外ノ不正事ニ係ハルヲ以テ政府ニケケレオン、オフ、ライ
トノ責ニ任スルニ交ハサリシ場合ノ实例ハ却テ尤ニ
掲載シタルモノ、如シ

不法ノ貿易ニ従事シタル船舶ヲ拿捕シ或ハ之ヲ破壊
スヘキヲ委任サレレ軍艦ノ長タルモノ莫ハ無事ナ
ル船舶ヲ誤認シテ不法ノ貿易ニ従事シタルモノト見
做シ之ヲ拿捕シ或ハ之ヲ破壊シタルハ此ノ如ク不

法ニ拿捕セラレ或ハ破壊セラレタル船舶ノ所有主ハ
同ケレオン、オフ、ライトヲ以テ政府ニ對シテ其償金ヲ
訴願スルト雖モ政府ニ於テ其責ニ任スルニ及ハスト
裁決セラル何トナレハ政府ハ其官吏ノ奪領及ヒ他ノ
不法ナル行事ノ責ニ任スルニ及ハサレハナリ然レ氏
其官吏ハ乃テ其責ニ任セサルヲ得ス

斯ノ如キ場合ニ於テ其實ヲ論スレハ官吏己ノ職限ヲ
犯シテ事ヲ為シタルモノナリ何トナレハ官吏ハ不法
ノ貿易ニ従事シタル船舶ヲ拿捕シ或ハ破壊セシトテ
命ヒラレタルニ却テ正當ノ貿易ニ従事シタル船舶ヲ
拿捕シ或ハ破壊シタルハナリ

若シ官吏カ其船舶ヲ拿捕ス可キ特命ヲ蒙リ無事ノ船
舶ヲ拿捕シタルモ亦タ前文ト同一ナリ何トナ

レハ不法ナル行事ノ責ハ政府ノ委任官吏ニ在リテ政
府自ラ之ニ任スルニ及バザレバナリ
若レ此法ヲ以テ苛刻ナリト思考セバ他ニ尚キ之ト曰
爰ナル一則アルヲ記臆スヘレト開クトナリヤ世王即
位第三年ノ法ニ曰ク
無ニ斯ノ如ク場合ニ於テハ真ノ行害者訴願ノ責ニ任
スベキモノニシテ其長官ヨリ此ノ如キ事ヲ行フヘキ
命ヲ蒙リタルヲ弁白スルト雖モ決シテ之ヲ以テ其
責ヲ免ルハ不能ハスト
此法則アルニ非レバ如何ヲ政府不正不法ノ行事ノ責
ニ民事上ニ於テ任スルニ及ハザルヲ須史ノ問ニ公
正ノ名状ヲ以テ維持スルヲ得ンヤ抑モ政府ノ民事
上ニ於テ責ニ任セザルヲ維持スルハ至緊至要ノモ

ノナリ何トナレハ曾ラ明法家ノ云ヘル如ク若シ世王
陛下ノ臣民中ニ於テ果ハ御世ノ果ノ時ニ當テ武事或
ハ文事ノ施行ニ由テ害ヲ蒙リタリト信スル者令日ニ
至リ女王陛下ニ對シテ自ラ計算シタル其損失ノ償額
ヲ訴願スルヲ得ハ其害ノ底止スル所得ヲ知ルヘカ
ラカレバナリ故ニ只犯罪ノ官吏ノ其責ニ任スヘキ
モノトス然レ氏至當テ進呈シタル摘撮者ニ於テ論述
シタル如ク若シ其官吏自ラ其償ヲナス能ハサルカ或
ハ其償ヲナスニ及ハサル時ハ政府自ラ其償ヲ為スノ
義務ヲ擔当シテ常ニ公明正大ノ処分ニ注意スルハ是
又政府ノ職掌ナリ

第二答

左ニ掲載スルモノハ被害者ヨリ述べテレヨシオスライ

トテ以テ償金ヲ訴願スルト雖モ既ニ特別ノ償法ヲ設
立シタル旨ヲ以テ遂ニ之ヲ受理セリトシ時ノ實例ナ
リ
臣民タル者内訌ノ為メニ己ノ財産ヲ壞損サレタルニ
由リ其損失ノ償ヲ訴願スルハ其訴願ニ應ズ可キ為
メニ特別ノ準備金ヲ設ケ而シテ此ノ如キ訴願ハ何如
ノ手續ヲ以テ之ヲ為スヘキヤ又此ノ如キ訴願ノ償ハ
何如ノ方法ヲ以テ之ヲ辨フヤヲ公告スル議院ノ令ヲ
以テ該訴願ニ係ル委員ヲ置キ之ヲ裁決セシム是即
チ特別ノ償法ナリ

曾テ一被害者ヨリ其訴願ノ全々ヲ此委員ニ申出シタ
リト雖モ委員ガ其訴願ノ整理ナキヲ以テ之ヲ拒ミ
シトアリ其訴願ヲ拒ミレタル被害者再ヒ之ヲレヨシ

オスライトテ以テ訴願ヲナレタリト雖モ政府ニ於テ
既ニ其訴願ノ処分スヘキ特別ノ償法ヲ設ケタルヲ以
テ之ヲ遵守シテ訴フルニ非レハ被害者其償ヲ得ルノ
権理ナレト裁決セラレタリ

凡ソ委員ハ償ノ與ヘテ至キナリト見誌ス可キ程ノ確
實ナル証拠アル訴願ニ其償ヲ拂ヒタルノ後チ仍ホ其
準備金ニ幾千ノ剩金ヲ生シタルハ議院ノ令ニ隨ヒ
之ヲ大蔵省ニ返還スルモノトス
余不ヨシレテ閣下ノ為メニ政府ノ責任ニ係ル自余
ノ数紙ヲ進呈セント欲ス

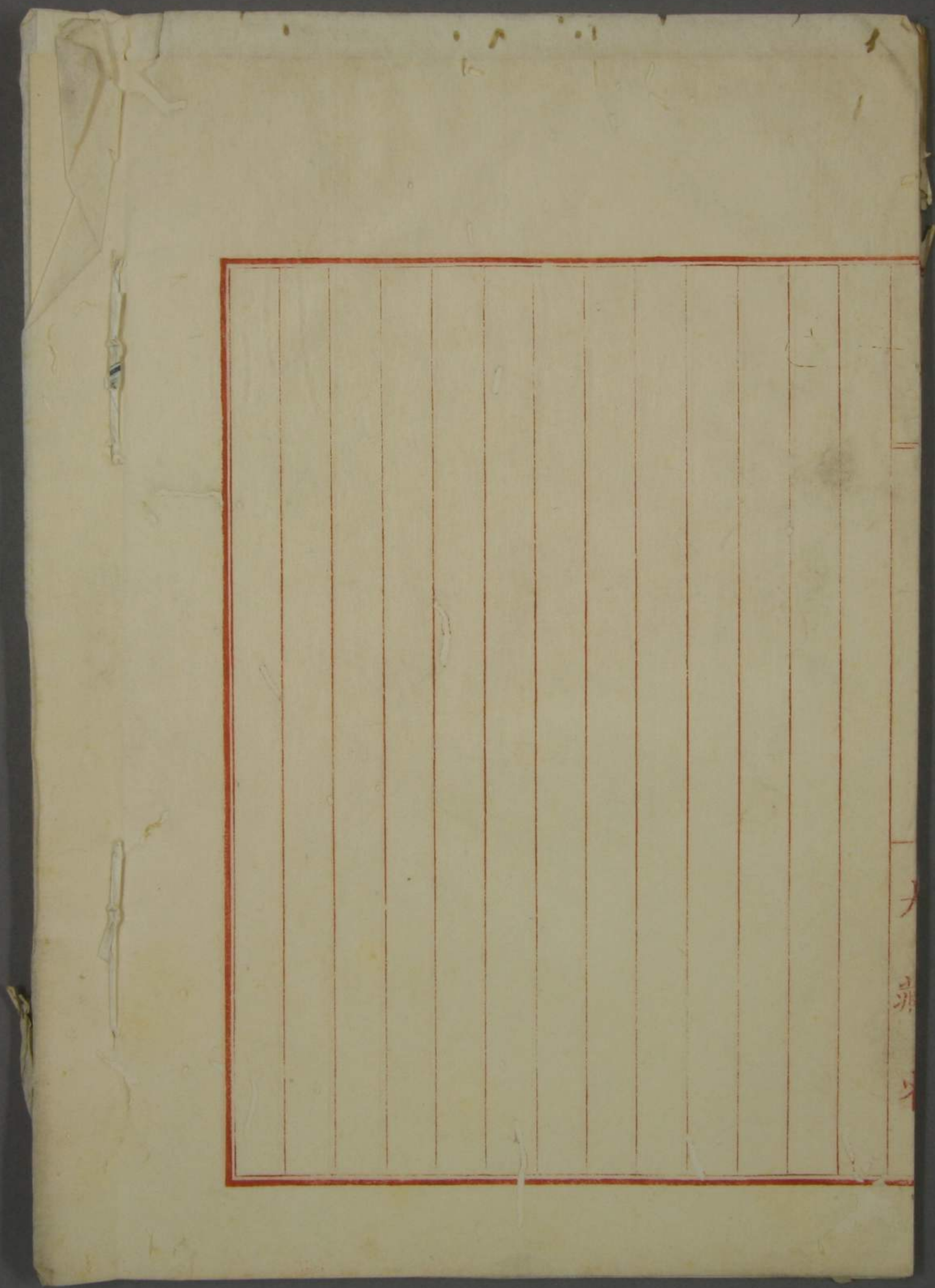
千八百七十八年二月十八日

ローベルト・ビードン

議院

大
義
旨

大
義
旨



大
赤
少